

《 バス旅行のご報告 [秩父宮記念公園と東山旧岸邸] 参加者 30 人 》

年最後の花みずき会のバス旅行で静岡県へ。雪をかぶった富士山が青空の中で美しい。今回は順調に最初の訪問地、「秩父宮記念公園」に到着。同行のボランティアガイドによると、敷地面積は 18,000 坪、標高約 500m、庭園は豊かな自然と両殿下が愛された山野草をはじめ四季折々の花々を楽しむことが出来るとか、桜、新緑や紅葉の真っ盛りの頃は美しい公園でしょう。入場門のそばのうっそうとした竹林は迫力がありません。藁ぶきの宮様のお住まいは思ったより質素で、庭に前日からの雨も朝にはやみ、終日青空の広がる 12 月 6 日、今は彫刻家、朝倉文夫作の登山姿の宮様の銅像が富士山に向かって建てられていました。戦時中に 1 回のみ使用された防空壕見学が興味深かったです。昼食は「金時亭」でせいり蒸し定食を味わい次の訪問地の「東山旧岸邸」へ。ここは元総理大臣 岸 信介が晩年 17 年間過ごしたところです。伝統的な数寄屋建築の美と住まいの機能を両立した邸宅で有名な建築家の吉田五十八の設計、大勢の賓客をもてなした大きな庭に向かって窓や戸が収納される建物が印象的でした。最後に見た岸家の家系図は皆知っている政治家ばかり、我々庶民とは別世界のものでした。今回のバス旅行で今年の花みずき会の活動は終わりです。この 1 年間色々な行事がありました。がすべて天候に恵まれて、特にバスツアーは役員様がよいスポットを選んでくださり印象深い場所ばかりでお礼申し上げます。2024 年もこのような企画を楽しみにしております。

皆様良いお年をお迎えください。

橋本道子様(隣接地域会員) 記

